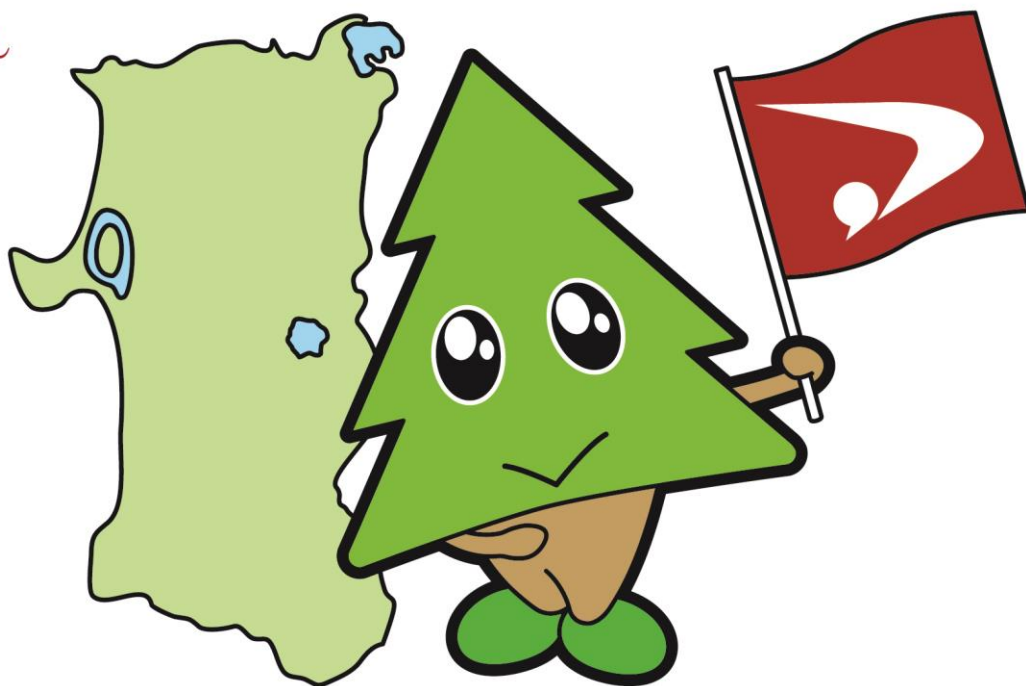


第2期ふるさと秋田 元気創造プラン

〈平成26年度～29年度〉



あきたびじん



秋田県マスコット スギッチ

秋 田 県

プランとは？

プランとは、^{げんき あきた}元気な秋田をつくっていくための、“^{あきたけん もくひょう}秋田県の目標”
と^{もくひょう}その目標のために“^{がんば}頑張ること”をまとめたものです。

はじめに、いまの^{あきた}秋田の^{かのうせい}可能性や^{かだい}課題などを^{かんが}考えて、それから、
^{おとな}みなさんが大人になる10年後の「^{ねんご めざ}目指す^{しょうらい}将来の^{すがた}姿」をイメージし
ました。そして、その^{じつげん}実現に向けて、どのように^{とく}取り組んでいくのか、
^{ねんかん}4年間（^{へいせい}平成26年度～^{ねんど}平成29年度）の^{けいかく}計画をつくりました。



つけたし

^{へいせい}平成22年度～^{ねんど}平成25年度の4年間は、「^{あきたげんき}ふるさと秋田元気
^{そうぞう}創造プラン」のもとで^{げんき}元気づくりに^{とく}取り組んできました。

^{こんかい}今回つくったプランは、この^{つづ}続きのため、「^{だい き}第2期」となってい
ます。

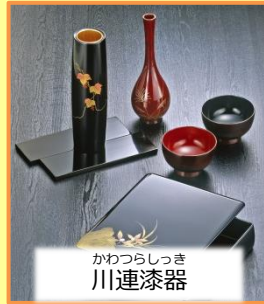
^{つぎ}次のページからは、^{あきた}秋田の^{かのうせい}可能性や
^{かだい}課題、^{しょうらい}将来の^{すがた}姿と4年間で^{ねんかん}つくる
^{げんき}元気について、^{はな}お話ししていきます。



あきた かのうせい 秋田の可能性

あきた よ かつよう
秋田にはたくさんの良いところがあります。これを活用
あきた げんき
することが、秋田の元気づくりにつながります。

ほうふ もくざい
豊富な木材が
う だ
生み出した
でんとう さんぎよう
伝統産業



かわつらしき
川連漆器

かぜ みず ちねつ
風、水、地熱
ちから つく
の力で作る
しん
新エネルギー



ふうりよく はつでん ゆりほんじょうし
風力発電 (由利本荘市)

こうざん
鉱山できたえた
ぎじゅつ い
技術を生かす
さんぎよう
リサイクル産業



こさかせいれん げんりよう
小坂製錬 (リサイクル原料)

こめ
おいしい米と
ふるさとの
りようり
料理



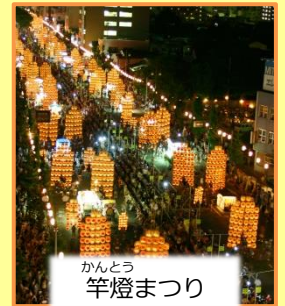
なべ
きりたんぼ鍋

みず
きれいな水と
こうだい しんりん
広大な森林



しらかみさんち りん
白神山地ブナ林

ちいき つた
地域に伝わる
でんとう ぎようじ
伝統行事



かんとう
竿燈まつり

くにくに
アジアの国々
とつながる
にほんかい
日本海



あきたこうくさい
秋田港国際コンテナターミナル
あきたし
(秋田市)

おんせん しぜん
温泉や自然、
れきし
歴史あるまちなみ



かくのだて ぶ けやしき
角館 武家屋敷

あきた かだい 秋田の課題

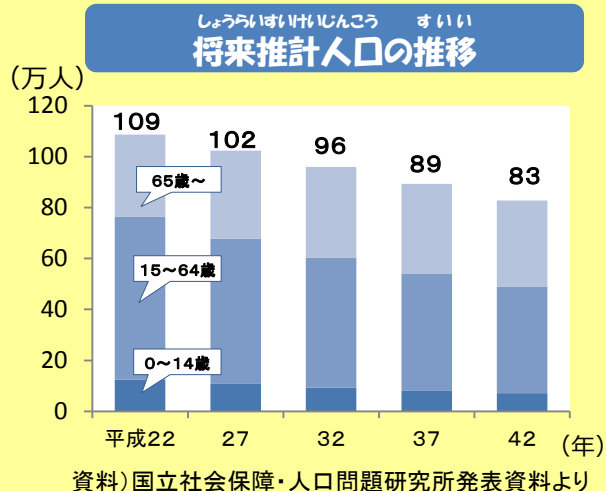
あきた とく かいけつ じゅうよう かだい
秋田には特に解決しなければならない、重要な課題が

3つあります。

1 じんこうげんしょう しょうしこう れいか 人口減少と少子高齢化

こどもや若い人が減っているため、県の人口は毎年1万人以上減少し、高齢者の割合が増えています。人口減少がこのまま進むと経済や地域の元気がなくなってしまう。

すこしでも人口が減らないように、たくさんの若い人が秋田で働き、子供を育てられるような社会をつくっていく必要があります。



2 けいぎ かね なが さんぎょう うかつどう 経済（お金やモノ、サービスの流れ）・産業（モノやサービスを生む活動）

けいぎ わる しごと み ひと しごと うしな ひと
景気が悪くなると、仕事を見つけることができない人や仕事を失ってしまう人がいます。はたら ひと すくな かね つか ひと すくな
働く人が少なくなると、お金を使う人が少なくなると、ますます景気が悪くなってしまう。

おおく ひとびと あきた しごと さんぎょう つよ はたら ばしょ ひつよう
多くの人々が秋田で仕事をできるように、産業を強くして、働く場所をつくる必要があります。

3 せいかつ あんぜん あんしん ひと 生活の安全・安心と人づくり

じんこう へ みちか がんば ひと へ ちいき もんだい かいけつ
人口が減ると、身近なところで頑張ってくれる人が減り、地域で問題を解決できなくなったり、必要なサービスが受けられなくなったりして、これまでどおりの生活ができなくなるかもしれません。

ちいき がんば ひと そだ ちいき く ひとびと あんぜん あんしん せいかつ
地域のために頑張る人を育て、それぞれの地域に暮らす人々が、安全で安心な生活を送ることができるような仕組づくりをする必要があります。

秋田の目指す将来の姿

あきた かだい かのうせい ねんご
秋田の課題や可能性をもとに、約10年後にみなさんが
げんき く すがた
元気に暮らしている 姿 をイメージしました。

「このような秋田になってほしい」
という将来の秋田の姿を5つに分けて
お話しします。



1 豊富な資源を活用した産業がエネルギーを生む秋田

ようじょうふうりょく うみ かぜ ちから ちねつ ちか ねつ
○洋上風力（海の風の力）や地熱（地下にある熱）
などの新エネルギーを使った産業で、日本を
ひっばっていきます。

やさい にく さかな くだもの はな こくないがい たか
○野菜や肉、魚、果物、花などが国内外で高い
人気を集め、それらで作った加工品が県内外で
たくさん売られています。

た もの おんせん あきた みりょく し
○おいしい食べ物や温泉など、秋田の魅力を知って
もらい、「秋田ファン」が世界中に広がって、
おおく ひとびと あきた き
多くの人々が秋田にやって来ます。

きゅうじつ ひとびと びじゅつかん かいが み
○休日には、人々が美術館で絵画を見たり、
ちいき つた まつ さんか
地域に伝わる祭りに参加したり、
あせ なが
スポーツで汗を流したりしています。

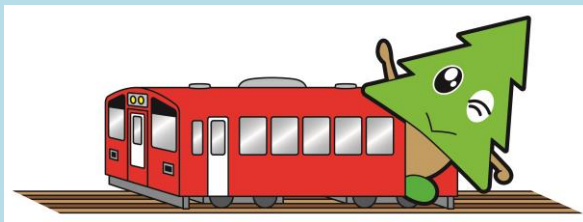


2 人やものの流れが盛んな秋田

○県内各地を結ぶ高速道路が広がっています。

○船でたくさんの商品を運べるように、港の整備が進んでいます。

○家から離れた学校や仕事、お店など
に行く人を運ぶ、地域のバスや鉄道
が便利になっています。

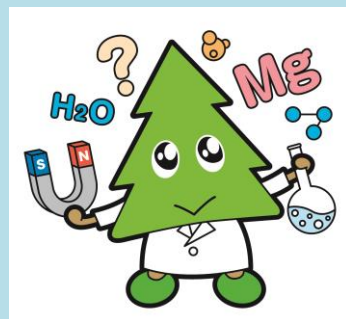


3 将来を背負う子どもたちが育つ秋田

○子どもたちが生き生きと授業に参加し、
確かな学力を身につけています。

○多くの子どもたちが世界中の人々と
英語でコミュニケーションができるようになっています。

○秋田の大学は、地域がより良くなるように力を発揮したり、
世界で活躍したりする人を育てるだけでなく、
地域や会社と一緒に地域の課題を解決します。



4 誰もが安心して暮らせる秋田

○元気なお年寄りが、長生きをして、豊富な経験や
知恵を生かして、地域で活躍しています。



○家族や、医者、介護士（一人で生活することが難しい人のお世話
をする人）などが協力して、お年寄りを支えています。

けんがい べんきょう しごと わかもの あきた もど しごと こそだ
○県外で勉強や仕事をしていた若者が秋田に戻り、仕事や子育てを
がんば 頑張っています。

じゅうみん ちいき もんだい じぶん かいけつ ちいき も あ
○住民が、地域の問題を自分たちで解決しようと、地域を盛り上げる
いけん だ あ おこな
ための意見を出し合ったり、イベントを行ったりしています。

5 す あきた 住みやすい秋田

かわ うみ やま ちか じしん つなみ すいがい
○川や海や山の近くでは、地震や津波、水害などの
さいがい たい そな
災害に対して、しっかりとした備えがあります。



かてい かいしゃ ひとひと でんき
○家庭でも会社でも、人々が電気などのエネルギーを
たいせつ みず うつく みどり まも
大切にして、きれいな水や美しい緑を守り、
ゆた しぜん たいせつ
豊かな自然を大切にしてしています。

おとこ ひと おんな ひと おな しゃかい かてい
○男の人も、女の人も同じように社会や家庭、
ちいき かつやく
地域で活躍しています。

ひとり こうつうあんぜん き はんざい
○一人ひとりが、交通安全に気をつけ、犯罪の
せいかつ
ないまちで生活しています。



つか さまざま じょうほう
○インターネットを使って、様々な情報や
う
サービスが受けられるようになっています。

4年間でつくる“3つの元気”

めざ しょうらい すがた じつげん へいせい ねん ど
 目指す 将来の 姿 を実現するために、平成26年度から
 ねんかん げんき
 の4年間で“3つの元気”をつくっていきます。

元気A

しげんたいこく つよ い せいちょう あきた
 「資源大国」の強みを生かし、成長する秋田に！

あきた
 こんな秋田が
 げんき
 元気をつくり
 ます

- あきた し ぜん しょうりょう みず もくざい かんこう ぶんか
 ○秋田は、自然エネルギーや食料、水、木材、観光、文化
 など、豊富な資源であふれています。
- けんない さんぎょう つ かさ たか ぎじゅつりよく
 ○また、県内の産業にはこれまでに積み重ねてきた高い技術力が
 あります。
- つか あたら しょうひん う だ か ち
 ○これらを使って新しい商品やサービスを生み出し、その価値を
 たか こくないがい う だ
 高めて、国内外へ売り出します。
- あたら さんぎょう せいちょう さんぎょう と く きぎょう かいしゃ
 ○また、新しい産業やこれから成長する産業に取り組む企業（会社
 みせ た かいしゃ ま ちから
 やお店など）が他の会社に負けない力をつけます。

次のようなことに取り組んでいきます。

- ふうりよく ちねつ う だ さんぎょう
 ●風力や地熱などからエネルギーを生み出す産業に
 と く きぎょう おうえん
 取り組む企業を応援します。
- あきた きぎょう か ち たか しょうひん つく ひ こう き
 ●秋田の企業が価値の高い商品を作ることや、飛行機や、
 いりょう き き せいちょうさんぎょう と く おうえん
 医療機器などの成長産業に取り組むことを応援します。
- ぜんこくてき ゆうめい
 ●えだまめやねぎ、アスパラガスなどの全国的に有名な
 さん ち つく おお のうさんぶつ う だ
 産地を作り、多くの農産物を売り出せるようにします。
- やさい くだもの う か こう
 ●野菜や果物をそのまま売るだけでなく、それらを加工
 しょうひん つく はんばい のう か かいしゃ おうえん
 して商品を作り、販売する農家や会社を応援します。



しゅうかく かじつ かこう
 収穫した果実を加工したジュース

元気B

みりよく 魅力をみがいて、^{こうりゅう}「交流」^{さか}盛んな秋田に！^{あきた}

^{あきた}こんな秋田が
^{げんき}元気をつくり
ます

○^{あきた}秋田には、^{ゆた}豊かな^{しぜん}自然や^{おお}多くの^{かんこうち}観光地、^たおいしい^{もの}食べ物が
たくさんあります。

○^{かんこう}観光と^{のうぎょう}農業や^{しょく}食などを組み合わせて、^{あきた}秋田をもっと^ふ魅力的
にして「秋田ファン」を増やします。

○^{ちいき}地域と^{ちいき}地域は^{べんり}便利な^{どうろ}道路で^{むす}結ばれ、^{こうりゅう}交流が^{さか}盛んになり、
にぎわいがあふれます。

次のようなことに取り組んでいきます。

●^{しょく}食や^{のうぎょう}農業、^{しぜん}自然など、^{ちいき}地域の^{そざい}素材を生かした、
^{ちいき}地域独自の^{かんこう}観光づくりを^{おうえん}応援します。

●インターネットなどを使って^{つか}情報を^{じょうほう}発信し、
^{こくない}国内はもちろん、^{かいがい}海外からも^{おお}多くの^{かんこうきやく}観光客に
^き来てもらえるようにします。

●^こ子どもからお^{としよ}年寄りまで、^{ぶんか}文化や^{ふんか}スポーツを
^{たの}楽しめるような^{ばしょ}場所や^{きかい}機会をつくります。

●^{はな}離れた^{ちいき}地域への^{いどう}移動が^{べんり}便利になるように、
^{どうろ}道路などを^{せいび}整備して、^{とお}遠くに^す住む人々が
^{あきた}秋田に^き来やすくなるようにします。



よこて
横手かまくら



いなにわ
稲庭うどん

元気C

みらい にな じんざい はぐく あんしん く あきた
未来を担う人材を育み、「安心」して暮らせる秋田に！

○秋田では、生活習慣病（脳や心臓の病気、がんなど）で亡くなる人が多くいます。また、お年寄りの割合が高くなっています。

○誰もが、健康で長生きをして、安心した生活が送ることができるような環境をつくりまします。

○秋田には、高い学力を身につけた子どもたちがいます。

○その子どもたちは、ふるさとを愛し、心も体もたくましく育ち、将来、地域の発展を支えたり、世界で活躍したりします。

あきた
こんな秋田が
げんき
元気をつくり
ます

次のようなことに取り組んでいきます。

●病気にならないように、バランスのとれた食事や運動習慣を身につけること、健康診断を受けることを呼びかけます。



●お年寄りや障害のある人を地域のみんなで支えるような仕組みをつくったり、医師や病院などを充実させたりします。

●子どもたちが、教室での勉強だけでなく、地域のことを学んだり、職場を体験する機会をつくりまします。また、海外の人々と英語で話す機会もつくっていきます。



がいくご じゆぎょう
ALT (外国語の授業をサポートする
がいこくじん せんせい かつよう じゆぎょう
外国人の先生)を活用した授業

○秋田では、人口が減っていますが、特に若い人がたくさん減っています。

○このため、秋田で暮らしたいと思う若い人たちが、秋田で仕事を
して、結婚し、子育てをしやすくなるように応援します。

○また、地域に暮らす人が少なくなっても、みんなで支え合い、
自分たちの問題を自分たちで解決できるような地域をつくって
いきます。

次のようなことに取り組んでいきます。

●秋田で働きたいと思っている人に、仕事を見つける
ための機会をつくり、情報を発信します。

●出会いや結婚の応援をしたり、結婚した人が、
ゆとりをもって子どもを育てたりできるような
環境をつくっていきます。

●若い人がお年寄りの家の雪寄せを手伝う仕組を
つくったり、お年寄りが知識や経験を生かして、
地域で活躍する応援をしたりします。



ボランティアによる除雪の様子

みなさんへ

ここまで、秋田県が目指す10年後の将来の姿や、
それを実現するために、4年間につくっていく“3つ
の元気”についてお話ししました。

みなさんにも、将来の夢があると思います。思い描
く未来の実現に向けて、一緒に元気な秋田をつくって
いきましょう。



たんとう あきたけんきかくしんこうぶそうごうせいさくか

- ☐ 担当 秋田県企画振興部総合政策課
- ☐ URL <http://www.pref.akita.lg.jp>
- ☐ Eメール seisaku@pref.akita.lg.jp
- ☐ TEL : 018-860-1217
- ☐ FAX : 018-860-3873